

研修内容の紹介

一般財団法人計量計画研究所

都市地域・環境部門 森尾 淳

研修内容の紹介

都市交通調査ガイダンス

都市や交通を取り巻く状況の変化等を踏まえ、都市交通調査を行う都市圏の地方公共団体に対して、標準的な手法と新しいアプローチ、これら留意点等を取りまとめた指針。

総合都市交通体系調査の手引き(案)（平成19年9月）を改訂。

関連する下記の指針等についても、関連する内容について更新しつつ記述。

- 都市・地域総合交通戦略及び特定の交通課題に対応した都市交通計画検討のための実態調査・分析の手引き（平成22年7月）
- 総合都市交通体系調査におけるビッグデータ活用の手引き（平成30年6月）
- 総合都市交通体系調査の事例集（平成30年6月）

都市交通調査ガイドンス

第Ⅰ部導入編、第Ⅱ部調査編、第Ⅲ部活用編から構成される。

▼表 ガイドンスの全体構成とねらい

構成	ねらい
第Ⅰ部 導入編	都市交通調査の実施を検討する地方公共団体等に対して、都市交通調査の必要性、有効性等を解説
第Ⅱ部 調査編	パーソントリップ調査を中心とした実態調査の設計、準備、実施、データ整備、公表等に関する基本的な考え方、標準的な手順、留意事項などを解説
第Ⅲ部 活用編	計画立案や施策検討等におけるパーソントリップ調査データやその他データ等の活用の考え方や方策等について解説

都市交通調査ガイドンスに沿って研修を実施

出典：都市交通調査ガイドンス

2

調査支援ツール集

都市交通調査プラットフォーム内に調査支援ツール集を整備。

調査の企画・設計全般	・都市交通調査ガイドンス ・調査項目及びデータの標準的な仕様 解説書 ・マスターデータレイアウトの標準的な仕様
抽出・名簿作成支援	・抽出・対象世帯名簿マニュアル作成のポイント
調査の実施・管理支援	・調査票サンプル ・調査配布物サンプル ・調査実施・管理マニュアル作成のポイント ・WEB調査システム
データ作成支援	・エディティングマニュアル作成のポイント ・コーディングマニュアル作成のポイント ・データ作成マニュアル作成のポイント ・エラーチェックシステム

出典：都市交通調査プラットフォーム

3

●都市交通調査プラットフォーム

<https://ptplatform.mlit.go.jp/>



●調査支援ツール集

<https://ptplatform.mlit.go.jp/support-tool/>



●都市交通調査ガイダンス

https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000024.html



都市交通調査とは

交通施設の都市計画に当たっては、おおむね 20 年後を目標とし、大都市、地方都市を問わず、通勤通学等日常交通活動の広がり、観点から一体的な圏域を形成している都市圏を対象に、交通実態の把握・分析、目指すべき都市構造や土地利用を踏まえた将来交通需要の予測を行ったうえで、都市の骨格を形成する交通施設等の必要性及び規模に関し総合的な検討を行うことが望ましい。

また、これまで最重要課題としていた渋滞緩和・解消の観点に加え、人々の活動機会へのアクセス、移動格差の解消、交通安全、カーボンニュートラルの実現、防災性の向上など、より幅広い都市の課題への対応の観点も含めて、交通実態の把握、分析を行うとともに、将来のありうる姿に関するシナリオ分析を、シミュレーション等を活用しながら実施し、都市や交通の関わるビジョンや計画を作成し、施設整備のような実現に長い期間を要するものだけでなく、短期間で実現できるものも含めて、施策や各種の取組みを提案する総合的な検討を行うことが望ましい（これらを総称して以下「都市交通調査」という。）。

パーソントリップ調査とは

都市圏内に居住する人を対象に、「どのような人が、どのような目的で、どこからどこへ、どのような時間帯に、どのような交通手段で」移動しているかを調査する実態調査。

全ての交通手段による移動を対象としている点、世帯や個人の属性を合わせて把握している点が特徴。

人の動きに着目し、移動の目的や利用した交通手段、移動の起終点の位置などを多面的に把握することで、交通の特性や都市構造、土地利用等を反映した分析を行うことがパーソントリップ調査の目的である。

都市交通調査は交通実態の把握・分析等を通じて施策や各種の取組みを提案する総合的な取組みであり、このうちパーソントリップ調査は、都市交通調査における交通実態の把握・分析のために行われる実態調査として位置付けられる。

出典：都市交通調査ガイダンス

6

総合都市交通計画研修

都市交通調査ガイダンスを踏まえた講習内容の刷新と体験を通じて学べるプログラム

①都市交通調査に関する解説

都市交通調査の企画から調査実施、計画立案や施策検討における活用まで、調査実務での各段階に沿って基本的な考え方や留意点等の解説、都市交通調査に関する最新動向の紹介

②調査・分析の体験

標準的なパーソントリップ調査の調査票の記入や既存の分析ツールを活用した PT データの簡易な分析

③グループワーク

課題設定から調査方法、分析手法等の一連の都市交通調査の調査企画づくりの経験

7

プログラム

第1日目/11月28日（木）

話題提供	都市交通調査の概要及び最新動向 国土交通省都市局都市計画調査室
導入編	都市交通調査を取り巻く状況や調査の流れに関する解説
グループワーク①	自己紹介＋自分たちの都市が抱える課題の整理
調査編	パーソントリップ調査の設計・準備・実施等に関する解説
活用編①	都市交通の現状理解に関する解説
グループワーク②	演習 まちの課題と仮説の設定に関するグループ討議
活用編②	シミュレーションとビッグデータ活用に関する解説

8

プログラム

第2日目/11月29日（金）

事例紹介	近畿圏におけるパーソントリップ調査の取り組み 国土交通省近畿地方整備局企画部広域計画課
活用編②	シミュレーションとビッグデータ活用に関する解説
活用編③	計画・施策・取組みへの活用に関する解説
講演	人生100年時代の都市交通とまちづくり 計量計画研究所 代表理事 岸井 隆幸
グループワーク③	演習 都市交通調査の企画づくりに関するグループ討議

9

本研修の役立て方

① 都市交通調査のきっかけ

- 新たな都市交通調査実施のきっかけ

② 都市交通調査の内容・留意点の理解

- 調査の円滑な実施
- 調査成果のレベルアップ
- 都市交通に関する知識習得
- 新たな調査企画を提案する際の参考

③ 調査成果の有効活用方策の理解

- 調査データを活用した計画提案の参考